

ソーラーパネル (架台自動)



■ソーラーパネル (架台自動) 概要

陸屋根・折板・瓦棒など、勾配の緩い屋根面にソーラーパネルを設置する際、発電効率等を考慮した任意のパネル勾配・枚数によるソーラーパネルを自動作図し、合わせて、設置する直下の屋根面との間に架台を自動作図します。

『ソーラーパネル (架台自動)』入力オペレーション

①：屋根入力画面で入力階を表示し、左ツールバーの『ソーラーパネル』を選択します。

②：ソーラーパネル入力設定ダイアログの『架台自動』チェックボックスを ON にし、以下③④⑤⑥他設定を確認変更します。

③：タイプ：パネルのタイプを選択し、表示更新された下段サイズ A～D を確認変更します。

④：設置枚数：ひとつの架台に設置するパネルの縦横枚数を設定します。

・縦：パネルの流れ方向の枚数

・横：パネルの流れ方向に対して垂直方向の枚数

⑤：パネル勾配：ソーラーパネルの勾配を設定します。(GL に対する勾配で、屋根勾配を考慮する必要はありません。)

⑥：入力基準点：入力基準点を確認変更します。(屋根流れ方向の水下側から見たソーラーパネルの入力位置です。)

③：ソーラーパネルの位置と流れ方向とを 2 点指定 (③④) で入力します。

③：1 点目 (位置)：1 点目で、ソーラーパネルを入力する屋根面上の入力基準点位置を指定します。

④：2 点目 (流れ)：2 点目で、ソーラーパネルの流れ方向を指定します。

ソーラーパネルの流れ方向は、設置屋根面の流れ方向、または反対側の 2 方向いずれかが指定可能です。

「架台自動」ON で、③④⑤⑥他設定確認

③-④：1 点目で位置指定 (入力基準点位置)

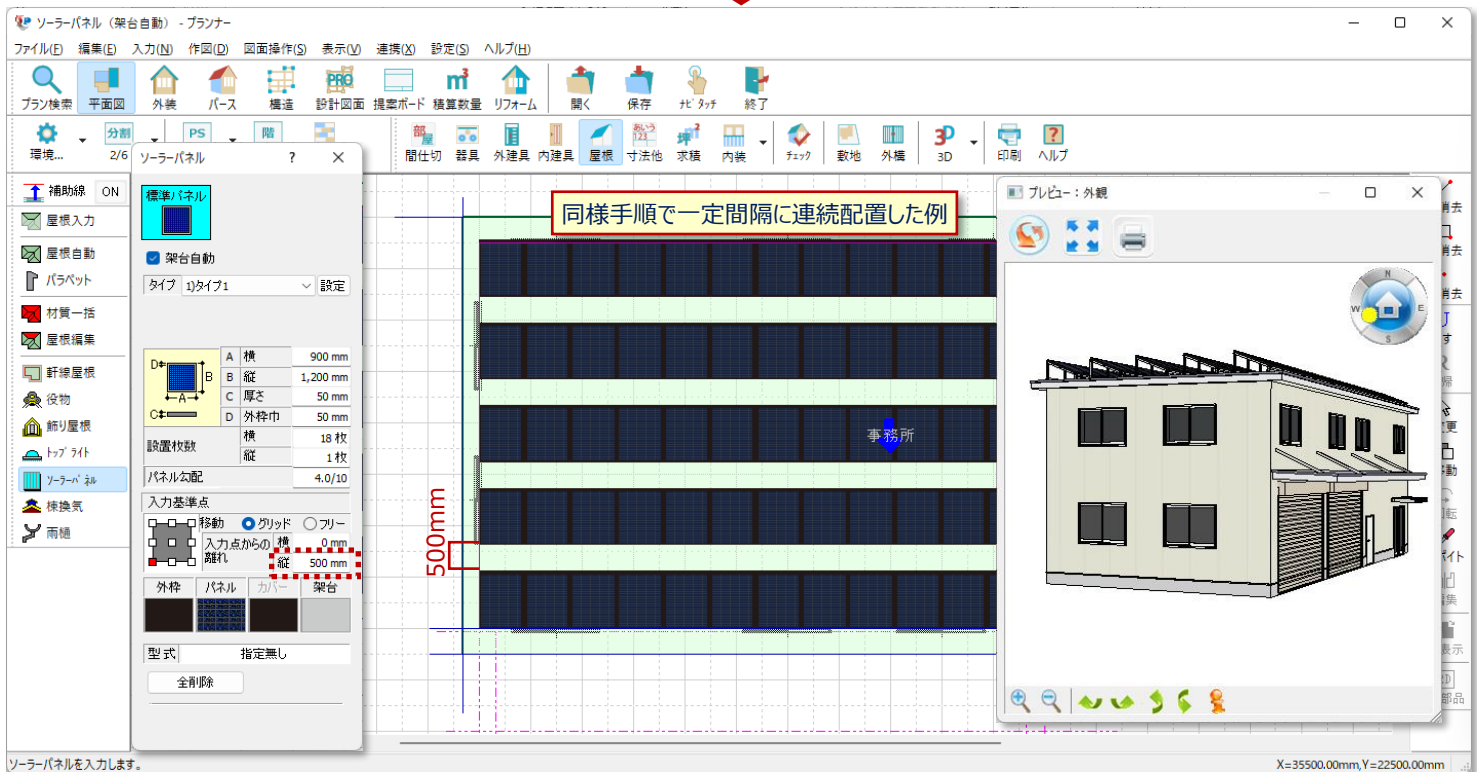
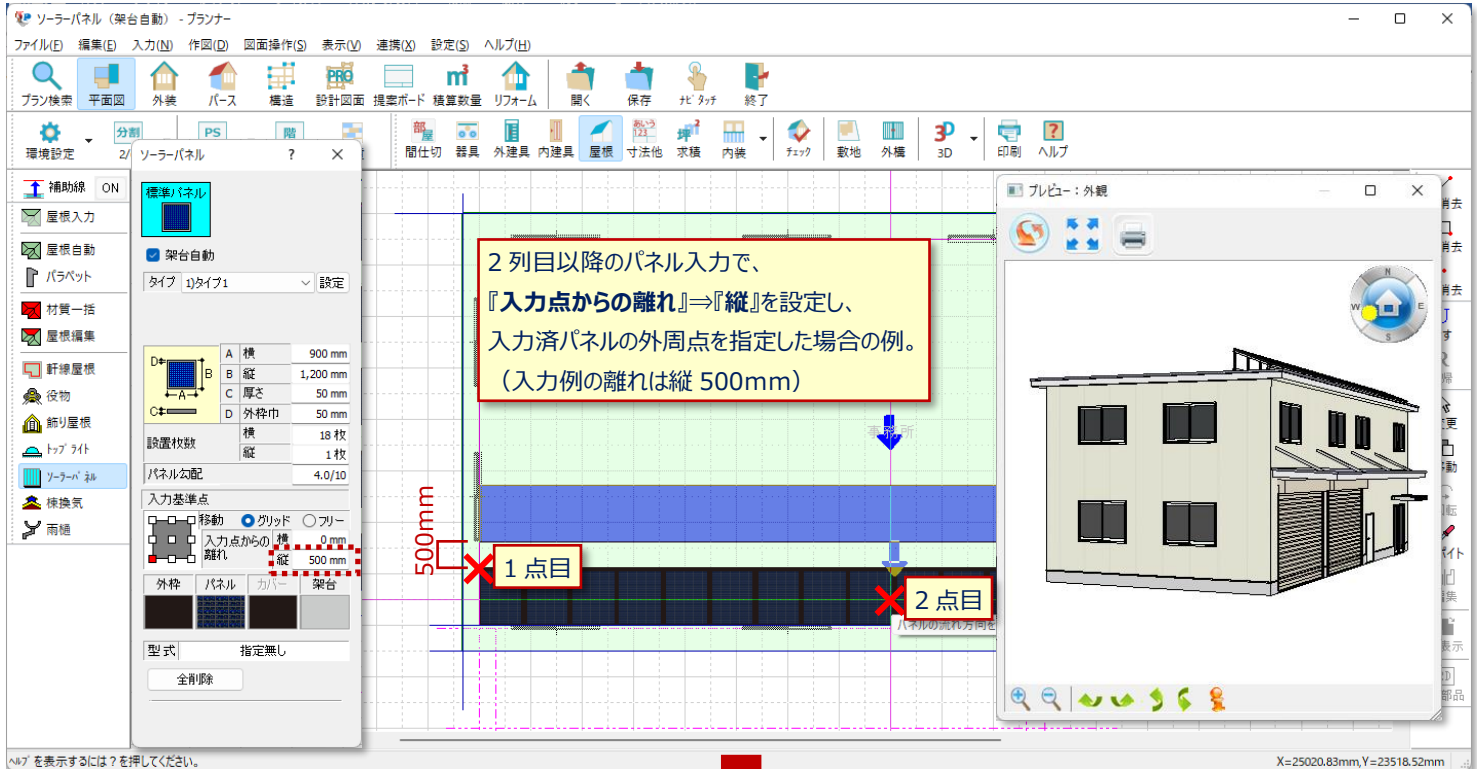
③-④：2 点目でパネルの流れ方向指定 (屋根面の流れ方向または反対側)

ソーラーパネルを入力します。

X=25500.00mm,Y=22000.00mm

ポイント 1：複数架台の一定間隔配置

ソーラーパネルのメンテナンス作業効率や、発電効率等を考慮し、複数列の架台自動ソーラーパネルを**一定間隔で配置**したい場合は、『**入力点からの離れ**』の活用により、簡単に連続入力できます。



ポイント2：陸屋根自動（標準）のソーラーパネル流れ方向

ソーラーパネルの流れ方向は、設置**屋根面の流れ方向**、または**反対側**の2方向いずれかが指定可能です。

屋根自動の『**陸屋根**』で屋根工法が『**標準**』の屋根を自動作図した場合、

屋根面の流れ方向が存在しない為、屋根流れ方向の矢印は表示されず、ソーラーパネルの流れ方向は『**上下**』方向のみが指定可能です。

このような屋根工法『**標準**』の陸屋根で流れ方向が『**左右**』いずれかの架台自動ソーラーパネルを入力したい場合は、

屋根自動または任意入力の片流れで、『**左右**』いずれかの方向へ流れる屋根を、『**屋根勾配：0/10**』で作図すると入力可能です。

